

<b>タイトル</b> (活動概要)	<b>55 ごめんね</b>	<b>アプローチ</b> (関連する力)	<b>「仲間づくり」⑩</b>		
<b>タイミング</b> (実施時期)	通年	<b>活動場所</b>	教室	<b>所要時間</b>	50分
<b>対象学年</b>	幼・小低・小中・小高 □中1・□中2・□中3・□高	<b>対象規模</b>	グループ (6～7人)	<b>活動場面</b>	道徳
<b>活動のねらい</b>	〈背景〉自分に非があっても謝れない子どもが増えている ・きちんと謝る力を身につける ・正しい謝り方を考える				
<b>準備</b>	ワークシート 筆記用具				
<b>学習・活動</b>		<b>支援の観点・留意点等</b>		<b>資料等</b>	
<b>1 導入(5分)</b> ・自分が相手の言葉で傷ついたり、嫌な思いをしたこと、自分が相手を傷つける言葉を言ったり、嫌な思いをさせてしまったことを思い出す		・どう謝られたら納得したか、相手にどう謝ったらよかったか考えて、きちんと謝る力をつけていこうとする意欲をもつようにする			
相手が納得してくれるように、きちんとした謝り方を身につけよう					
・ワークシート①をする  <b>2 主活動</b> ・グループで話し合っってワークシート②から場面を1つ選ぶ  ・グループで話し合っって、相手が自分の誤りを認め「ごめんなさい」と謝るまでの会話を作り、ワークシート②に記入する  ・謝るまでのロールプレイングを行う		・大切なのは、どのように謝罪したかであることに着目させる  ・役割を決めて、謝る側と謝られる側をする ・観察者は助言を与える		ワークシート①  ワークシート②	
<b>3 ふり返り(10分)</b> ・ふり返りシートに記入する				ふり返りシート	
<b>配慮事項</b>	・相手の容姿など身体的特徴に関することは絶対に言わないように事前に確認する ・言葉で謝ればよいということではなく、謝る側の態度も大切であることをしっかりと認識させる ・教師が謝り方の見本を示すと、よいモデルとなる ・個別支援学級や相談室などでは、特定の時間に行うだけでなく、実際に必要な場面が生じたときに即座に対応することで、実際場面と結びついた効果的な指導が可能である				

## ごめんね～ワークシート①～

年 組 名前

★今日の目標： 相手の言葉や態度で傷ついたり、嫌な思いをしたことがあると思います。その時、相手がどう謝ってくれたら納得したか考えることを通して、きちんと謝る力をつけていこう。

●今まで、誰かの言葉で傷ついたり、嫌な思いをしたことがあると思います。その時のことを思いだして書いてください。

①なんて言われましたか？

( )

②どうして傷ついた・嫌だと感じたのですか？

( )

③どう謝られたら相手のことを許せましたか？

( )

④どう言われたら傷ついた・嫌だと感じなかったですか？

( )

自分が傷ついたり、嫌だと感じる表現は、相手も同じように感じることが多いです。普段の言葉遣いに気をつけるだけで、良好な人間関係が築けます。

しかし、もし相手が嫌がることをしてしまったら、「自分がこのように謝られたら相手を許せる」と思う行動をとることが大切です。

次のワークシートには、自分が相手から嫌な思いをさせられる場面と最初の相手のセリフが4つあります。グループで1つの場面を選んで、最初のセリフから始めて、相手のことを許せると感じる謝罪を受けるまでの会話のやりとりを作ってください。

## ごめんね～ワークシート②(左)～

グループメンバー： \_\_\_\_\_

◎謝るときには、「ごめんなさい」という謝罪の言葉、自分のどこが悪かったか  
まちがいを認める言葉、これからどうするかくり返さないための約束が大切で  
す。場面1～4からグループで1つ選び、嫌な思いをした人が相手のことを許  
せると感じる謝罪を受けるまでの会話を作ろう！

場面1：AさんはBさんとふたりで一緒に帰る約束をしています。約束の時間を30分過ぎたとき  
に、Bさんはやってきて「今日、彼女(彼)と帰るからさあ、Aはひとりで帰ってくれ」と言いまし  
た。Aさんは納得がいかず怒っています。

場面2：CさんはDさんとふたりで放課後一緒に遊ぶ約束をしていました。Dさんの家に迎えに行  
くと、Dさんは「今日遊ぶ約束していたけど、ひとりでゲームしたいからまた今度な」と言いまし  
た。Cさんは怒った顔で立っています。

場面3：EさんとFさんはふたりで出かける約束をしていました。EさんがFさんに待ち合わせ時  
間を確認すると、Fさんは「Eと出かける約束していたけど、Gとふたりで遊ぶことにしたから」  
と言いました。Eさんは「何？」という顔をして立っています。

場面4：HさんはIさんが大切にしている道具をかりて勉強をしていたところ、机の上から落とし  
てIさんの道具を壊してしまいました。Hさんが「落として壊しちゃった」と言うと、Iさんは悲  
しそうな顔をして「何てことしてくれたの！」と言っています。

**グループで相談して場面を選び、会話を作ろう。**

作り終わったら、グループの中で、配役を決めて、実際の場면을想像しながら  
ロールプレイをしよう。見ている人は、演技の良かったところを話したり、助  
言をしよう。

※謝るときは、言葉だけではなく、態度や表情なども大切です。



会話がもっと続く場合は、もう一枚紙をもらってください。

## ごめんね～ふり返しシート～

年 組 名前

---

★今日の活動をふり返って、あてはまる数字に○をつけてください。

4 よくできた 3 まあまあできた 2 あまりできなかった 1 できなかった

- ・進んで取りくめましたか 4-3-2-1
- ・参加して楽しかったですか 4-3-2-1
- ・グループの話に積極的に参加しましたか 4-3-2-1
- ・謝ることの大切さが分かりましたか 4-3-2-1

★グループで話し合っ感じたことは何ですか？

★ロールプレイをして気付いたことは何ですか？

★今日の感想を書いてください。